



KAMAKA

005

The Kamaka Kids Ukulele Ensemble

ウクレレをひいてみよう!



Let's play the ukulele!

ハワイ生まれのウクレレは、やさしい音色のげんがっき。今回の課題曲はハワイを代表する曲『アロハ・オエ』です。ウクレレのひきかたを教えてくれるのは、ミュージシャンの松井朝敬さん。ひきかたのコツをまなんで、おやこで楽しくえんそうしてみよう!

Aloha Oe アロハ・オエ

Chord diagrams and musical notation for the song "Aloha Oe".

Chord Diagrams:

- C: 3rd fret, 1st string
- G: 2nd fret, 1st string; 3rd fret, 2nd string
- D7: 3rd fret, 1st string; 2nd fret, 2nd string
- G: 2nd fret, 1st string; 3rd fret, 2nd string
- G7: 3rd fret, 1st string; 2nd fret, 2nd string; 3rd fret, 3rd string
- A7: 1st fret, 1st string; 2nd fret, 2nd string; 3rd fret, 3rd string

Musical Notation:

レ ミ - ソ - ド - - ミ レ - ソ - シ - - ソ ソ

ファ# - ミ ファ# ソ ラ ラ ド ド シ - - - ソ - - レ

ミ - ソ - ド - - ミ レ - ソ - シ - - ソ

ファ# - - ソ シ ラ - ファ# ソ - - -

Left Hand Finger Numbers:

1 2 3 4

ハワイ王国第8代女王リリウオカラニが作詞作曲をしました。1878年にリリウオカラニがある少女と軍人との別れの光景を目にして書いたとされています。当時はCDなどない時代、まずは楽譜が1895年に発売され大ヒットとなり、ハワイを代表する曲となりました。ウクレレにとても似合う曲です。

Ukulele Skills

ウクレレのひきかたのコツ

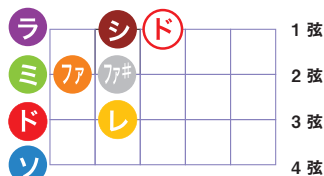
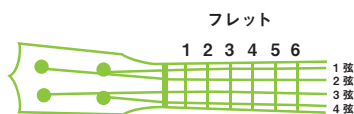
1. ウクレレを持ってみよう

最初は慣れるまでひざの上にウクレレをのせ、ウクレレが動かないように右ひじでかかえるようにして持ちます。人差し指のつけ根でウクレレのヘッドを支えましょう。



2. ドレミをひいてみよう

音符の色とおさえる弦の場所が同じです。左手で、1フレット・ファは人差し指、2フレット・レとシは中指、3フレット・ドは薬指で弦をおさえます。ラ・ミ・ド・ソは、弦をおさえずに、右手親指でそれぞれ下に向かって、やさしくひくようにしてひきます。「アロハ・オエ」はハ長調ではなく、ト長調になっています。五線譜に表記されているファの音に、シャープ（#：半音上がる、+1フレット）がついているので、2弦2フレット「ファ#」をおさえましょう。「ソ」から順番に上の「ソ」の音まで「ソラシドレミファ#ソ」とひとくち「ドレミファソラシド」と相対的に聞こえます。



3. メロディをひいてみよう

ドレミの場所をおぼえたら、メロディをひいてみましょう。最初の「レ」の音は1拍分の長さ、3拍分（3カウント）を感じてから4拍めに「レ」の音をひきましょう。リズムを感じながらゆっくりひいてみましょう。

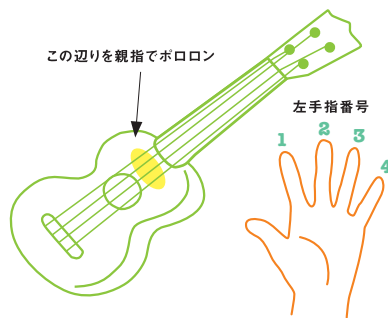
松井朝敬 1900～1940年代のスウィング、ジャズ、ハワイアンなどを演奏する日本でもめずらしい演奏家。バンド「スウィート・ホリワイアンズ」を率い、日本、アメリカ、ヨーロッパとワールドワイドに活躍している。
www.sweethollywaiians.com

4. コードをひいてみよう

今回のコードは全部で5種類。まずはコードのおさえたをおぼえましょう。

明るく安定した響きのメジャーコード「C（シー）、G（ジー）」、

なにか次のコードを呼んでいようなセブンスコード「G7（ジー・セブンス）、A7（エー・セブンス）、D7（ディー・セブンス）」をおさえたと一緒に響きもおぼえましょう。指の腹の部分をおさえると音がきれいにみえませんが、指を立てておさえるときれいな音が出ます。



5. リズムを感じよう

この曲は4/4拍子。1小節に4つ「ボロン、ボロン、ボロン、ボロン」と、規則正しくコードをひいてみましょう。コードをおさえるのが間に合わなくても止めないように。右手に合わせてコードチェンジができるよう、練習しましょう。

6. 合奏してみよう

さあ、メロディとコードをおぼえたら合奏です。お子さんはメロディ、お父さん、お母さんは伴奏のコードを、お互いまちがえてもひきなさいように、リズム通りひけるように練習しましょう。何度もまちがえるところは、合奏する前によく練習しておきましょう。ひけるようになったら、メロディと伴奏パートを交換して、親子で一緒に楽しい時間を過ごしてください。

マンモススクール・ウェブサイトでは、松井先生によるウクレレのひきかたのコツと「アロハ・オエ」の演奏を動画でみることができます。
マンモススクール・ウェブサイト
www.mammothschool.com



愛にあふれたウクレレづくり

1916年から約100年にわたり高品質のウクレレをつくりつづけてきたハワイの老舗ウクレレメーカー。職人たちが受け継いできた伝統技術を大切にしながらも、よりよいサウンドや演奏性を日々追求し、そのウクレレの音色はジェイク・シマブクロをはじめとする世界中のミュージシャンやウクレレファンを魅了しつづけています。ハワイアン・コアがつくりだすあたたかみのある深い音色は、まさにハワイアン・ウクレレの源流といえます。

Kamaka Ukulele Standard Model

貴重なハワイアン・コア材を用いた、カマカウクレレの定番シリーズ。子どもから大人まで幅広い層から指示されるソプラノウクレレのHF-1とHP-1。HP-1は、HFよりもまろやかな音の特徴で、パイナップルの形に似ていることからパイナップルウクレレとして長い間親しまれてきました。HF-2はコンサートシリーズで、より本格的にウクレレを楽しみたい方におすすめ。



Kamaka HF-1
Soprano Standard
¥120,750



Kamaka HP-1
Soprano Pinnapple
¥120,750



Kamaka HF-2
Concert Standard
¥147,000

【お問い合わせ先】 KAMAKA UKULELE 日本総代理店（株）黒澤楽器 03-5911-0611
www.kamakaukulele.jp